



2022年 4月8日 金曜日 (令和4年)

埼玉新聞社 〒331-8686さいたま市 北区吉野町2-282-3

中学校3年間を 有意義に送るために

満開の桜が咲き誇る春。大きな希望と少しの不安を胸に、真新しい制服に身を包んだ新中学1年生が入学式を迎えます。中学校での3年間は心身ともに大人への階段を上り始める時期であり、3年後には夢を叶えるための第一歩となる高校入試もやってきます。本特集では、新中学1年生に充実した学校生活を送ってもらうため、さまざまなアドバイスを紹介します。



- インデックス**
- 1面：大野元裕・県知事あいさつ 高田直芳・埼玉県教育長インタビュー
 - 2面：勉強は授業中心 いじめについて考える 子育てコラム
 - 3面：中学校保健室の先生から 気になる教育費 わが家でできるコーチング 新学習指導要領、全面実施へ
 - 4面：さいたま市細田真由美教育長インタビュー

世界とのつながりを 意識して学びを広げる

埼玉県教育委員会では、「豊かな学びで、未来を拓く埼玉教育」を基本理念に埼玉教育の充実、発展に努めている。高田直芳・県教育長は、中学校生活を有意義に過ごすためにどうすべきか話を聞いた。



高田直芳・埼玉県教育長

自ら進んで 取り組む活動増

―今春、希望胸に多くの新中学1年生が入学します。3年後には人生最初の岐路となる高校入試も控えておりますし、心身ともに成長期となるものこの時期です。まずは新入生へ向けたお祝いの言葉を申し上げます。

高田 中学校入学おめでとうございます。保護者の皆さんにもお祝い申し上げます。保護者の皆さんにもお祝い申し上げます。保護者の皆さんにもお祝い申し上げます。

積極的に興味関心を

―今の子どもたちが大人になる10年後には、AIが人間に代わってさまざまなことを行っている時代が来るにわたっています。そのような中、中学校の新学習指導要領でも「技術・家庭科」におけるプログラミングに関する内容を拡充されるなど、問題解決能力を育む機会が増えています。この時期、子どもたちが学校教育の

仲間とともに！ 埼玉から未来を創る新1年生!!

埼玉県知事 大野 元裕

新入生の皆さん、新生活への期待に胸をくくらせて今日の日は迎えたことと思います。不安や緊張もあるかもしれませんが、心配はいりません。同級生や先輩、そして先生方との新たな出会いは、皆さんの可能性を大きく広げるチャンスとなります。今日の新鮮な気持ちを忘れず、新しい生活をスタートさせ、新しい生活を送ってほしいと思います。

皆さんは小学校生活において、クラスの中で自分の役割を果たしたり、同級生と協力したりする中で、人と関わる多くの経験をしてきました。中学校生活では、教科ごとに担当の先生が替わったり、部活動や委員会などで先輩と一緒に活動をしたります。クラスや学年の枠を越えて、さまざまな出会いがあり、多くの出会いを通して色々な考え方を吸収し、経験を積み、自分の世界を広げていってほしいと思います。皆さんの可能性は無限に広がっています。もう一つ、大切にしてほしいことがあります。それは他者への思いやりです。「誰かの役に立った」「誰かに喜んでくれた」と、誰かのために頑張ったことは、自分の自信にもつながります。成長する皆さんを、御家族や地域の方々、先生たちもしっかりと支えてくれるはずですよ。

これからの3年間が皆さんにとって、実り多い学校生活となることを願っています。

頑張れ！埼玉から未来を創る新1年生!!

中で身に付けておくべき力はどのようなことかと考えになります。高田 「主体的・対話的で深い学び」というキャッチコピーがありますが、自ら進んで学ぶことが一つ。もう一つは、協働して学び、みんな協力して勉強することが大事だと思っています。

自ら進んで学んでいくと、興味関心が広がります。世界が広がっていくので、自分は何に興味関心があるのかとか、関心のあることをもっと勉強してみようとか、自分から積極的にいろいろ関心を持ってもらいたいと思います。

また、世界とつながっているということ意識して中学生のころから学びを広げることが大事です。例えば、英語、エネルギー、環境のことを考えても、埼玉県や日本だけで完結しているものはほとんどなく、全てが世界とつながっている世界の中、人と協力していかないと解決できないことばかりです。自分が今、生活している上で課題になっていることは世界とつながっていることと意識して、興味関心を広げ、自ら学ぶの先勉強をしてほしいと思います。そうすると日本のこともきちん勉強した方がいよいよこのことに気が付きます。日本のことを知らないという世界の人と日本のことを伝え、協力して何かをするということができるんです。

また、数年後には今ある仕事の半分はAIで代替可能といわれていますが、どうい時代になるか誰も想像できません。みんなのものにタブレットが一人一台配られるのは2年前は夢にも思っていなかったです。AIの仕事を増える反面、人間ができることが別々になるはずだと思っています。人でないはずではない仕事をみんなで見つけ作っていく時代になるのかなと思います。

部活動で 社会のルールが

―中学校に入る部活動も本格的になります。楽しいことも多いことも多くあるかと思えます。上下関係もそうです。そのような時に直に直面した場面のアドバイスはありますか。

高田 中学校は小学校と比べると生活の決まりも多し、制服などという制約が出てきます。それはいいことだと思います。それは将来、成人して社会に出た時に集団生活を行う上で必要なルールを、中学校の決まりごとを通して学んでいくためにいいと思います。

また、社会に出ると年齢も性格も違ういろいろな人と仕事をともにするわけですが、部活動は年齢の違う上下関係の中で人間関係を学ぶ貴重な体験の場だと思います。そして部活動は自分がやりたいことを選び入りますが、同じ志を持った生徒が集まることで、教室と

「家族は味方」を きちんと伝える

―子どもの教育には学校の先生はもちろん、保護者が行う教育も重要です。思春期の子どもを持つ保護者の方へアドバイスをお願いします。

高田 小学校の頃は常にわが子は目の届くところにいる感じだったと思いますが、中学生になると社会性がでてくるので、この範囲から少し飛び出そうとする時期です。親からすると少し寂しく、どこかに行ってしまうのかと心配で、微妙な気持ちになるかと思えます。その一瞬は漢字で書くと木の上に乗って息を止めているというところを言いますが、そういう時期に差し掛かるのが自然な成長過程です。で、100分の子ども少し成長してきたのかな、ちょっといいかなと思ってもうちょっといいかなと思えます。ただ、子どもが傷ついた時には、「何かあったら絶対守るから」という戻る居場所、味方となる家族がいなければなりません。そのことをきちんと言わなければ、心配はないかと思えます。

―最後に今後の日本を背負っていく子どもたちに激励の言葉を申し上げます。

高田 新型コロナウイルス感染症が収束し、皆さんが思う存分、中学校生活を送れるようになることを祈っています。少しでも皆さんが充実した学校生活を送れるよう、教育委員会でもしっかりと応援したいと思っていますので、ぜひ希望を持って中学校に入學してきてほしいと思います。



気になる高校の学費

国の支援と県の補助が充実 私立授業料も無償化の方向

教育格差の解消に向けて

まだ少し早いかもしれませんが、3年後の高校進学について経済面からのお話をしておきましょう。

高校はいま現在も制度上は義務教育ではありません。しかし、実際には、ほとんどの子どもが高校等に進学しており、実質的には義務教育化しています。それに伴い、親の経済状況によって学ぶ機会が奪われたり制限されたりしてはならないと考えられるようになってきました。したがって、国や都道府県の政策もその方向、すなわち高校教育の無償化に向かっていきます。

公私の学費格差は縮小

保護者の皆さまが中高生だった時代と比べて、公立と私立の学費格差はかなり縮小しました。これを支えているのが、国の「高等学校等修学支援金(以下、国の支援)」と、埼玉県の「父母負担軽減事業補助金(以下、

埼玉県独自の補助も

保護者の皆さまが中高生だった時代と比べて、公立と私立の学費格差はかなり縮小しました。これを支えているのが、国の「高等学校等修学支援金(以下、国の支援)」と、埼玉県の「父母負担軽減事業補助金(以下、

県の補助)です。今回は、この二つについて簡単に説明します。

国の支援金は増額

昨年(令和2年4月)から国の支援は増額されました。

公立高校(全体制)に通う場合、世帯年収約910万円以下であれば授業料は無償です。

世帯年収による制限

私立高校(同)に通う場合、世帯年収約590万円以下であれば、39万6千円(上限)が補助されます。この金額は私立高校の平均授業料に相当します。また、世帯年収が約590万円以上約910万円以下であれば公立授業料に相当する1万8800円が補助され、実際に通う私立授業料との差額が自己負担となります。

埼玉県独自の補助も

県の補助は、国の支援に上乗せする形で無償化を実現しようとするもので、授業料だけでなく、入学金や施設費についても補助が受けられます。

2021年度補助額について(全日制高等学校の場合)

入学金	100,000円(1年生のみ)					
施設費等納付金	全額	200,000円				
	全額					
授業料	国の就学支援金	396,000円	県の補助額	259,200円	国の就学支援金	118,800円
			国の補助額	259,200円	国の就学支援金	118,800円
			国の補助額	259,200円	国の就学支援金	118,800円
			国の補助額	259,200円	国の就学支援金	118,800円
			国の補助額	259,200円	国の就学支援金	118,800円
			国の補助額	259,200円	国の就学支援金	118,800円

*1(目安年収)(生活保護を受給) (約500万円) (約590万円) (約609万円) (約720万円) (約910万円)
*2 目安年収はモデル世帯(夫婦片働き、子ども2人(うち高校生1人、中学生1人))の場合

どう世帯年収による制限が設けられており、完全無償化には至っていません。世帯年収が低いほど支援や補助は手厚くなり、逆に世帯年収が一定額を超えると支援や補助の対象からはずれる場合も出てきます。詳しくは埼玉県総務部学事課や埼玉県私立立中等高等学校協会のサイトでご確認ください。

保健室の先生からアドバイス

コロナ感染収まっても健康観察の習慣は続けて

中学一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今日の健康状態はどうですか。発熱や咳、のどの痛みなど、風邪の症状はありませんか。味覚や嗅覚の異常はありませんか。ご家族にもこれらの症状や異常はありませんか。

健康観察は新型コロナウイルス感染症の予防のために推奨されてきた「新しい生活様式」のうちの一つです。この他にも手洗いやマスクの着用、換気、黙食やソーシャルディスタンスをとるなどがありますね。今はまだ欠かせない行動ですが、一日も早く会話をしながら食事ができる日常に戻ってきてほしいと願っています。

しかし、この感染状況が収まったとしても健康観察の習慣

はぜひ続けていってほしいです。現在のよに毎日体温を測ったり、健康観察表をチェックして学校に提出していただくのはこの先、必要になります。少しの間だけでも自分の体調に異常や違和感、痛みがなければ大丈夫です。

また、自分の健康状態をしっかりと確認する機会として健康観察があります。体の発育や発達、異常や疾病がないか調べる重要な学校行事です。

今年もすぐに健康診断が始まります。その目的を理解し、結果のお知らせについても保護者任せではなく、自分で確認して必要があれば速やかに受診してください。健康診断で発見された異常や疾病を放っておいて良いことはいくらもありません。部活や勉強よりも優先と考えるべきです。

中学生の時期は身体や環境の変化が著しいため、しっかりと健

康管理をしても心身のバランスが崩れてしまいがちです。何となく不調が続いてしまうこともあります。そんな時は必ず保健室を頼ってください。

久喜市立東中学校 養護教諭 永島志乃先生



わが家でできるコーチング

自分との小さな約束を作る

約束を作る

相原めぐみ (MCOACHINO代表 パーソナルコーチ)



私はコーチという職業を通して、夢や目標に向かって頑張っている人のサポートをしています。大切なことは、その過程の中で、自分の力で目標に向かっていくと自信を持てます。それは、自信を持てるようになることです。

効果的な方法の一つとして「自分との小さな約束」を作り、守ります。それは、立派なことではなく、無理なく続けられたいです。

私には中学2年生の娘がいます。あれから2年、成績は、一つの目安に過ぎないのですが、着実に伸びています。「スポーツ大好き、勉強苦手」だった娘が、

「自分との約束」を実践するようになり、どう変わったかと、娘に聞いてみました。「自信が持てるようになったよ。毎日やれば、できなかつたこともできるようになるよ。」

あれから2年、成績は、一つの目安に過ぎないのですが、着実に伸びています。「スポーツ大好き、勉強苦手」だった娘が、

「自分との約束」を実践するようになり、どう変わったかと、娘に聞いてみました。「自信が持てるようになったよ。毎日やれば、できなかつたこともできるようになるよ。」

あれから2年、成績は、一つの目安に過ぎないのですが、着実に伸びています。「スポーツ大好き、勉強苦手」だった娘が、

「自分との約束」を実践するようになり、どう変わったかと、娘に聞いてみました。「自信が持てるようになったよ。毎日やれば、できなかつたこともできるようになるよ。」



中学校日記

失敗恐れずに発言や行動を



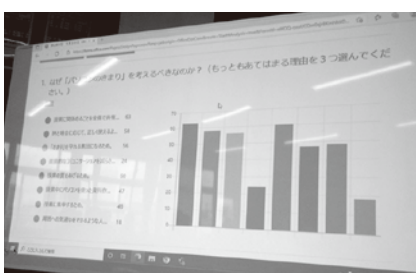
学年班長会の様子

論。2年生4クラスの中から、各クラス6人計24人の学年班長会を編成させること、学校の決まりを見直す話し合いが行われた。

まず生徒から出されたのは「パソコンの決まり」。一人に1台支給されたタブレットの授業外での使用方のルールを班長会で2パターン作成し、タブレットのアプリを使用してアンケートを実施。1333人に意見を募った。

「休み時間にタブレットは使えない方がいいと思う」と調べものをするために休み時間でも使用できるようにしたいという声も多かった。アンケート結果、

ICT機器の使用の様子
タブレットを使用したアンケート



ICT機器の使用の様子
タブレットを使用したアンケート

さいたま市
細田真由美教育長
インタビュー

目に見えない学力(非認知能力)が 真の学力を養成する



細田真由美さいたま市教育長

「令和3年度全国学力・学習状況調査」中学の英語・数学で全国平均を大きく上回ったさいたま市。同じく同調査で実施された生活習慣や学習環境などに関する質問のうち、自意識に関する質問項目では、さいたま市の子どもの自尊意識が全国平均に比べて高く、自己肯定感の高さがうかがえる。同調査の結果を踏まえて、中学1年生とその保護者に向けてのアドバイスを同市の細田真由美教育長に語ってもらった。

◆3つのGに下支えされた 各学校の施策

市のスローガン「学びならさいたま市! PLAN THE NEXT」の3つのGで日本一の教育都市へ」の3つのGとは、

細田 1つ目のGはGrit (グリット)、やり抜く力です。私たちは、目的を達成するために継続的に粘り強く努力して最後までやり遂げる力が、「真の学力」を育成すると考えています。「真の学力」とは、「見える学力」と「見えない学力」の2つを合わせた力です。「見える学力」は認知能力といわれるテストの点数や検定の級など数値化できる学力のことですが、「見えない学力」とは、非認知能力で、生きていく上で必要な力や自分をコントロールする力のことです。「見えない学力」は「見える学力」を下支えします。両方を兼ね備えるためにもグリットを大切にしています。

2つ目のGはGrowth (グロウス、成長です。一人一人の成長を支える力というのは生涯学び続ける力だと思えますので、主体的・創造的に学び続けてほしいと思います。

最後のGはGlobal (グローバル)で、国際社会で活躍できる力、多様性を理解してそれをつないでいける力です。世界を舞台にチャレンジしていくには、豊かな人間性が必要不可欠です。言語だけでなく、その国の背景や文化などを理解しながら自分の考えを発信し、交流する力が重要です。

市内の学校ではさまざまな取り組みを行っており、全てがこの3つのGに下支えされています。

例えば、ある中学校では、「生徒の生徒による生徒のための学校づくり」に取り組みしていて、居

地の良い学校にするために生徒が主体的に意見交換をしています。そして、その成果として「テスト前1週間は、静かな環境で朝学習をする時間を設ける」など、自分たちの力で学校を変えていっています。私がその様子を見に行った時、議論が暗黙(あんじやく)に盛り上がったことがありました。すると、司会の男子生徒が「意見がぶつかるのは大切なこと、自分たちの学校を居心地良くするために徹底的に話し合いますよ」と言っています。私は、これが「見えない学力」の典型だと思いました。

このように、主体的に物事にチャレンジしていく力が育ち「見える学力」に繋がっていくのだと思います。

**◆予測困難な時代を
共生しながら対応**

— 中学1年生が有意義な中学校生活を過ごす上で大切なことは

細田 中学校では教科ごとに先生が替わり、最初は戸惑うかもしれませんが、いろいろな先生の話が聞ける、多様性に遭遇できる機会だとポジティブに捉えてほしいと思います。また、小学校と比べると校則が厳しくなると感じるかもしれませんが、さいたま市ではここ数年、「校則見直しプロジェクト」で生徒自身がアンケートを取ったり話し合いを重ねたりして合理的でない校則や現状に即してない校則を変えていく、ルールメイキングに取り組みんでいます。不安を抱えている生徒はいっぱいいると思いますが、「大丈夫だよ、より良い学校にするために、みんなで話し合いながら前に進みましょう」と申し上げたいです。

私たちは2年前、社会を激変させる新型コロナウイルスに遭遇しました。それ以前から予測困難な時代という言葉が枕詞のように使われてきましたが、予測困難なことが現実になり、身をもって体験しました。コロナ禍では感染対策で学校行事が中止になったり、制約の多い中での開催となったりしました。私は、昨年度末、学校訪問した際、児童・生徒の皆さんに「コロナで楽しみにしていた学校行事ができなくてごめんね」と謝ったことがあります。すると「教育長さん、僕たちは工夫してやれることはやったら大丈夫だよ。先生たちも一緒に考えてくれたし」と答えてくれました。

例えば、合唱コンクールはマスクやフェイスガードで工夫したり、吹奏楽部は「全てパート練習にして、校舎の窓から外に向かって吹けばいい」と提案したりして、いろいろなることを成し遂げていったのです。子どもたちはどんな場面でも成長します。大人が途方に暮れている中で、子どもたちがアイデアを出し合い、新たな道を開いてくれました。

持続可能な社会を作るためには自分ひとりでやることは限られています。共生しながら予想外のことに柔軟に対応していかなければなりません。大人も正解が分からない世の中ですから、自分たちにとって何が一番居心地が良いかを一緒に考えていきたいと思います。生徒の意見やアイデアに対して、いいねと言える雰囲気も大事だし、当事者意識を高く持って活動していくことが、「見えない学力」を育むと思います。

**◆自分の考えを
言語化できる習慣を**

— 保護者へのアドバイス

細田 「見えない学力」は、人の輪の中で学び合うことで育ちます。中学生になると部活動などで、保護者の目が届かないところにいる時間が長くなり、どのように過ごしているのか気になると思いますが、人の輪の中で「見えない学力」を育てている、大事な時間を過ごしているとお考え下さい。子どもを信じて主体性を大切にしてください。そして、家に帰ってきたらたくさん話を聞いてあげましょう。思春期でも、実は子どもたちは話したがっています。話し始めた時は、親の価値観を振りかざすことなく子どもの話に興味を持って耳を傾けると、子どもたちは「一生懸命自分の思いや考えを言葉にしよう」とします。とかく大人は正解を言いたくなりますが、大人が先に考えを出してしまったり、もう子どもは考えなくなってしまうと思います。「あなたはどう思う?」と聞いかけ、子どもの自分で考える力を育てていきたいと思います。

予測困難な、誰も見たことのない世界を生きる子どもたちに必要な力は、「自分の頭で考え、自分の言葉で発言できる」そんな力なのかもしれません。

埼玉新聞はあなたの中学生生活をサポートします

2022年度 埼玉新聞模試

埼玉県公立高校入試実践対策模試 **中学3年生対象**

論述問題の対策で合格を引き寄せる。「学校選択問題」にも対応

第1回 **12/11日**

第2回 **2023年 1/8日**

埼玉新聞模試の特徴

- 特徴① 埼玉県公立高校入試に準拠した記述(論述)問題多数導入
- 特徴② 英語・数学は「学校選択問題」「学力検査問題」の選択可能
- 特徴③ 新聞社ならではのアフターフォローが充実

受験生を対象とした「高校入試対策特集」

2021年(令和3年)7月1日号

2021年(令和3年)10月28日号

登録者数約55万人の
埼玉新聞LINEニュース

最新ニュースを見る